

SIDE CORE

2012年より活動を開始。メンバーは高須咲恵、松下徹、西広太志。映像ディレクターとして播本和宜が参加。公共空間におけるルールを紐解き、思考の転換、隙間への介入、表現やアクションの拡張を目的に、ストリートカルチャーを切り口として「都市空間における表現の拡張」をテーマに屋内・野外を問わず活動。近年の展覧会に「SIDE CORE 展 | コンクリート・プラネット」(2024年、ワタリウム美術館+屋外、東京)、「六本木クロッシング2022展: 往来オーライ!」(2022 年、森美術館、東京)、「Reborn-Art Festival」(2022 年、2019年、2017年、石巻市)、「水の波紋展2021」(2021 年、ワタリウム美術館、東京) 現在、2025年10月18日(土)より金沢21世紀美術館にて開催される展覧会の準備中。



SIDE CORE photo: Shin Hamada



水の波紋展2021 SIDE CORE 《time gate》 2021 photo: GOTO Shuji



第8回横浜トリエンナーレ「野草: いま、ここで生きてる」 SIDE CORE 《big letters, small things》 2024 photo: OHNO Ryusuke



奥能登国際芸術祭2023 SIDE CORE 《blowin' in the wind》 2023 photo: Kichiro OkamuraCourtesy of Oku-Noto Triennale 2023

金沢美術工芸大学 大学院特別講義 公開講座
街に出てみた結果 ストリートのアート

令和7年7月22日「火」 17時40分ー19時10分

会場…金沢美術工芸大学 3101/101講義室
対象…学生、教職員 ※全学年対象、一般の方も聴講いただけます
講師…SIDE CORE
演題…街に出てみた結果 ストリートのアート

講義概要

アートチーム「SIDE CORE (サイドコア)」を講師に迎え、大学院特別講義 (公開講座)を開催します。都市空間を舞台にストリートカルチャーの視点から表現の可能性をひらいてきたSIDE COREは、現在、金沢21世紀美術館での展覧会 (2025年10月開幕) に向けたリサーチを行っています。
本講義では、彼らのこれまでのプロジェクトや、進行中の取り組みを紹介しながら、「街に出ること」「人と関わること」からどのような表現が生まれるのかを共に考える場とします。公共空間におけるアートの実践や、人との関わりで生まれる表現に関心のある方は、ぜひご参加ください。

